



深西だより

学校通信 第59号 令和8年2月26日(木) 発行

きり拓き 創りあげる人
考える力も 豊かな心も 強身体も

議長会が中心になり学年レク開催



1月23日 本校体育館において、2年生が学年レクリエーションを実施しました。この企画は、2年生が独自に組織している議長会（各HRの議長・副議長）が中心となり、準備と運営を行ったものです。入学当初より、学年集会の司会もこの議長会が毎回務め、今年の冬休み明けの学年集会で実施したクイズ大会で種目を決定するなど、工夫しながらの運営を行いました。自分たちで創り上げる体験の積み重ねが、本校の教育目標「きり拓き、創りあげる人」を目指す土台となっていくものと思われます。



最初はうまくいかず不安でした。議長団のみんなと集まる機会を多く設け、話し合いを行いました。みんなが楽しめるレクリエーションになったのも、話し合いを重ねたからだと思います。今回の取り組みで学んだことと反省点を次の機会に活かしたいと思います。まだまだ楽しいことができそうです。

<2年生：飯島琴花・沼田中出身>

初めて運営側の立場で行事ごとに取り組みました。1時間しかない時間で、スムーズな運営を行うための司会進行やみんなが参加出来て、みんなが楽しめるルール作りなど、思った以上に大変でしたが、みんなの協力もあり、とても有意義な学年レクになりました。みんなでやれたことが何よりでした。

<2年生：野地梨愛・深川中出身>

自分と向き合い進め!

3月に卒業する3年生から、大学進学を目指す後輩へのメッセージを紹介します。

私は2年生までは別の大学を志望していましたが、大学卒業後の進路を考えた時、考え直して合格した大学に志望を変更しました。また下調べすることにはなりますが、こんなタイミングで希望が変わってしまっても遅くはないので、たくさん悩んでください。

まず最初に伝えたいことは、「評定は取れるだけ取っておこう」ということです。定期考査はテスト範囲を周回すれば点を取ることができます。部活がどんなに忙しくても2週間前からは少しずつ復習を始め、全教科平均80点を目指しましょう。大学によって異なりますが、目安として4.0をとっておきましょう。ただ、1枠を争うこともあるのでやはりとれるだけ評定を取っておきましょう。

2つ目は、「部活に入っておこう」ということです。アルバイトに専念するという人もいますが、それはお金に余裕ができるし、大切な社会経験になるので否定しませんが、面接試験となれば部活のことは話すネタになります。好成績を残せばなおさらです。現に自分は部活のことを軸に構成を組み立てました。

面接練習は約1ヶ月前から始めました。私は色々な先生にお願いをするのがいいと思います。最初はできなくても、練習を重ねるうちに必ず話せるようになります。

最後に、推薦受験は試験でありもちろん不合格という可能性もあるので一般に回ったときにも合格できるような準備を進めておきましょう。「ここで学びたいんだ」という意思を試験では伝えつつも、「受かってたらラッキー」くらいの心意気で合格発表を待つといいと思います。苦しい時もあると思いますが、そんな時ほど自分と向き合って進んでください!応援しています!

<齋藤陸穂・北海学園大学経済学部/沼田中出身>

3月の行事予定

- 1日(日) 卒業式
- 2日(月) 振替休日
- 3日(火) 公立高校入試検査場設営
- 4日(水) 公立高校入試 [学力検査]
- 5日(木) 公立高校入試 [採点]
- 9日(月) スクールカウンセラー訪問
- 11日(水) (公立高校入試 [追検査])
- 16日(月) CBA学力テスト
- 17日(火) 公立高校入試 [合格発表]
- 18日(水) 第2回PTA理事会 スタディサポート(新2年生) 教科書・副教材購入(新3年生)
- 19日(木) スポーツレクリエーション 教科書・副教材購入(新2年生)
- 24日(火) 修了式・離任式
- 25日(水) 学年末休業(～4月7日)

スタディーサポートとは?

現時点までの国語、数学、英語の学習内容理解度を把握し、苦手箇所を確認するベネッセのテストです。結果は学習到達度ゾーンという指標による基礎的学力の測定結果が各自に返却されます。また学習状況調査も同時に行い、到達度と学習習慣の関連も把握でき、今後の学習目標・学習習慣の方向性がわかります。

<発行者> 北海道深川西高等学校 担当: 総務部

<電話> 0164-23-2263 <FAX> 0164-23-2264

<E-mail> hukagawanishi-z0@hokkaido-c.ed.jp <ホームページQRコード>

